

2012年3月期

ソフト99コーポレーション

決算説明会

2012年5月29日

本プレゼンテーション、および引き続き行われる質疑応答の際の回答には将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動、景気動向、天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。

本プレゼンテーションおよび、引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私たちは、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。

またこの記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私たちの現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

会社概要

株式会社 ソフト99コーポレーション

創 立	昭和29年(1954年)10月28日
資本金	2,310,056,000円
代表者	代表取締役社長 渡辺 泰
従業員数	195名 (2012年 3月31日現在)
事業内容	自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売

関係会社一覧

社名	所在地	資本金 又は 出資金	議決権に対する 提出会社の所有 割合	関係内容
アイオン(株) 	大阪府中央区	482百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
アスモ(株) 	大阪府中央区	80百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸
上海速特九九化工有限公司 	中華人民共和国 上海市	5,650 千米ドル	100.0%	
(株)ソフト99オートサービス 	大阪府中央区	50百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)くらし企画 	東京都千代田区	50百万円	100.0%	役員の兼任・不動産の賃貸

※アスモ(株)が営んでいた温浴事業は、平成23年8月1日付で(株)ソフト99コーポレーションに事業譲渡されました。
また、(株)パナックスは、平成23年10月1日付で、アスモ(株)を存続会社として合併いたしました。

事業セグメントの分類

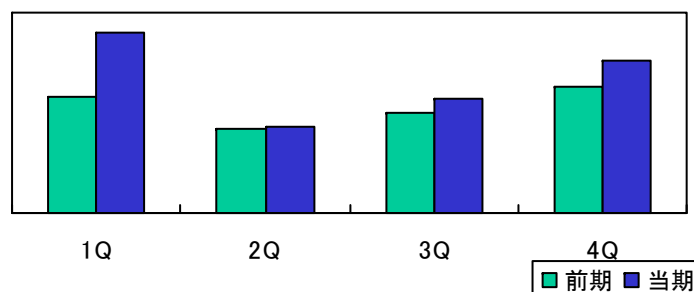
ファインケミカル	カー用品(一般用・業務用)	 (株) ソフト99コーポレーション
	家庭用品等製品	
	海外事業	
ポーラスマテリアル	産業資材部門	 アイオン(株)
	生活資材部門	
サービス	生活用品企画販売事業	 (株) 暮らし企画
	オートサービス事業	 (株) ソフト99オートサービス
	教習事業	 アスモ(株)
不動産関連	温浴事業	 (株) ソフト99コーポレーション
	不動産賃貸事業	

ファインケミカル

消費者向けカー用品事業

- ・震災直後の消費低迷の影響により、春先のボディお手入れ用品の最需要期は苦戦。
- ・梅雨前後に消費回復し、ガラス用撥水剤は順調。ワイパーは、販売店の拡大が進み順調。

ワイパー前期比較(四半期別)



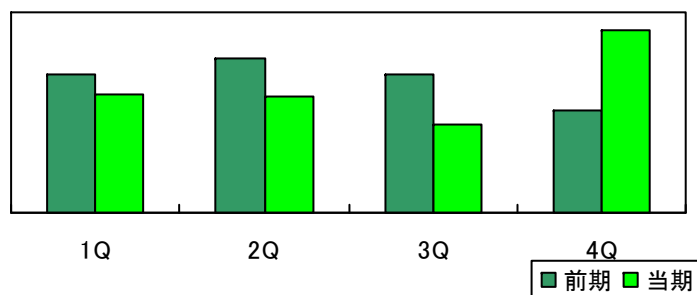
- ・補修関連商品は、新車不足により、消費者のメンテナンス意識の高まりと、販売店舗の拡大も加わって順調に推移。
- ・新車販売の低迷を受けて、タイヤチェーン消化進まず。(前年比 約70百万減)

ファインケミカル

業務用カー用品事業

- ・サプライチェーンの寸断やタイの洪水の影響で、新車の供給が滞り、新車販売時に施工されるコーティング関連製品が苦戦。
4Q以降回復するも、前年には届かず。

業務用製品前期比較(四半期別)



- ・将来の種蒔きとなる、新規OEM開拓や、新用途開拓は進む。



家庭用品事業

- ・主力のメガネ用製品の販売が苦戦。新製品ではカバーできなかった。



ファインケミカル

海外事業

- ・円高の影響を受けて、東南アジアの既存仕向け先が苦戦。
新規仕向け先の開拓でカバー。(ベトナム、ミャンマー)



ベトナム市場(小売店)

- ・ロシア向けは、積極的な販売促進活動により、順調に推移。

ロシア市場(コマーシャルビークル)



ロシア市場(小売店)



ロシア市場(店頭)



- ・中国市場においては、現地生産品目の増加により、
日本からの輸出は減少するが、現地生産の新製品が好調。
- ・新規市場開拓は、ブラジルがスタート。



中国市場向け現地生産品

ファインケミカル (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	9,837	9,922	85	0.9%
(ボデーケア)	(2,255)	(2,113)	(△142)	(△6.3%)
(ガラスケア)	(2,507)	(2,752)	(245)	(9.8%)
(リペアグッズ)	(2,230)	(2,260)	(30)	(1.3%)
(業務用)	(1,066)	(1,008)	(△58)	(△5.5%)
(家庭用品等)	(754)	(707)	(△47)	(△6.2%)
(海外事業)	(852)	(878)	(26)	(3.1%)
(その他)	(170)	(202)	(32)	(19.0%)
売上総利益	4,519	4,497	△22	△0.5%
粗利益率(%)	45.9%	45.3%	△0.6%	—
営業利益	832	852	20	2.4%
営業利益率(%)	8.5%	8.6%	0.1%	—
使用資産	12,084	11,833	△251	△2.1%
営業利益/使用資産(%)	6.9%	7.2%	0.3%	—

(注)その他には樹脂容器販売を含んでおります。

ポーラスマテリアル

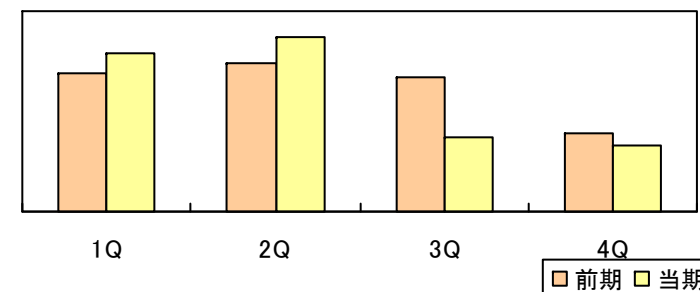
産業資材部門

- ・国内は、夏期の節電要請に備えて、お得意先において備蓄生産が実施され、前半は好調に推移。
- ・後半は業界の停滞と前半の反動により苦戦した。

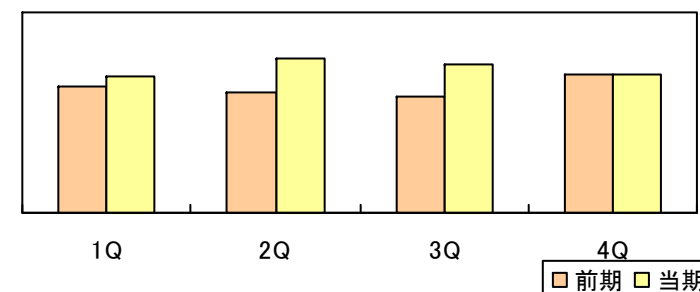
- ・海外は概ね好調に推移するも、タイの洪水影響により、ハードディスク向け製品が伸び悩む。

→産業資材トータルは前年を上回った。

産業資材部門(国内)前期比較(四半期別)



産業資材部門(海外)前期比較(四半期別)



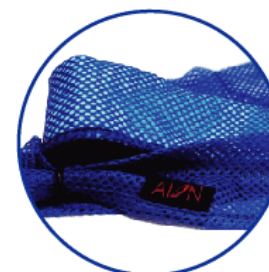
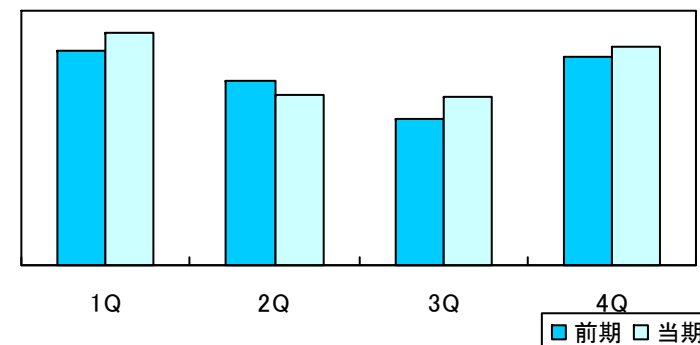
ポーラスマテリアル

生活資材部門

- ・国内は、夏期の節電対策グッズとして気化熱利用の冷却製品「サモコンクール」が大ヒット。カー用品の苦戦をカバーする。
- ・海外は米国の消費低迷や円高の影響によって、カー用品が苦戦。

→国内の「サモコンクール」の好調が海外の苦戦もカバーして、生活資材トータルは増収。

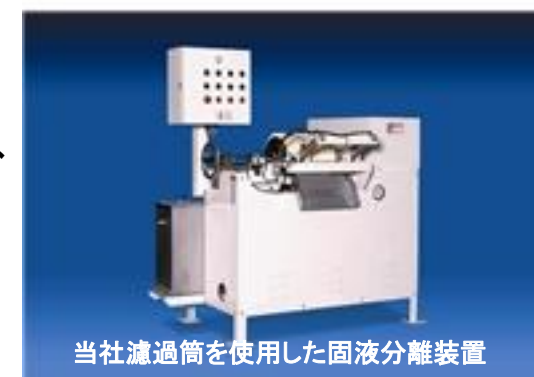
産業資材部門(国内)前期比較(四半期別)



気化熱利用の冷却グッズ「サモコンクール」

新用途開発

- ・二次電池向けセパレーター用途、LED用サファイヤ基板研磨用途、医療用(インフルエンザ試薬)用途等のお得意先での評価開始。
- ・新用途では無いが、固液分離の濾過筒が、福島県で除染後の放射性物質除去に採用。



当社濾過筒を使用した固液分離装置

ポーラスマテリアル（対前年同期比）

（単位：百万円）

	2011年3月期	2012年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	4,502	4,743	241	5.4%
(産業資材)	(3,023)	(3,192)	(169)	(5.6%)
(国内)	(1,774)	(1,754)	(△20)	(△1.1%)
(海外)	(1,249)	(1,438)	(189)	(15.1%)
(生活資材)	(1,479)	(1,552)	(73)	(4.9%)
(国内)	(642)	(772)	(130)	(20.2%)
(海外)	(837)	(781)	(△56)	(△6.7%)
売上総利益	1,234	1,273	39	3.2%
粗利益率(%)	27.4%	26.8%	△0.6%	—
営業利益	475	491	16	3.4%
営業利益率(%)	10.6%	10.4%	△0.2%	—
使用資産	6,533	6,818	285	4.4%
営業利益/使用資産(%)	7.3%	7.2%	△0.1%	—

サービス

オートサービス事業

- ・サプライチェーンの寸断による自動車販売現場の混乱や、ガソリン不足の影響による乗り控えの影響で、前半は苦戦。
- ・新規顧客の開拓や、近畿圏における損害保険会社からの紹介誘導が軌道に乗り、通期で前年を上回る。
- ・事業拡大に向けた人員増強に伴う費用増加により、利益面では、前年を下回る。

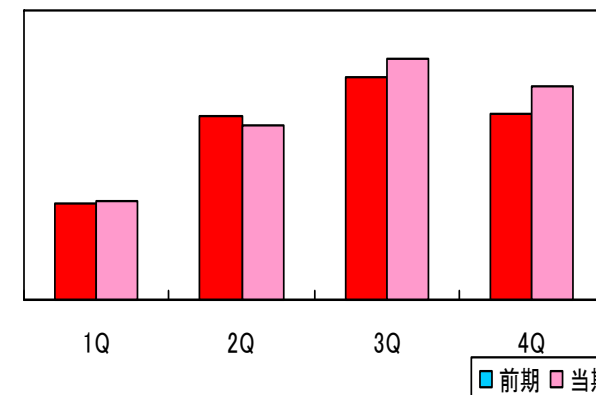
自動車教習事業

- ・閑散期における職業免許中心の稼動は奏功。
- ・近隣の若年者人口の減少は底を打つが、普通免許の入所が伸び悩み、前年を若干下回った。
- ・稼動のバランス(普通免許・職業系免許)が改善して、利益面では前年を上回った。

生活用品企画販売事業

- ・防災・節電関連商品の販売が増加して、売上・利益面好調。

オートサービス事業前期比較(四半期別)



職業系免許



防災・節電関連商品

サービス (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	5,126	5,212	86	1.7%
オートサービス	(2,447)	(2,465)	18	0.7%
自動車教習所	(804)	(799)	△5	△0.6%
生活用品企画販売	(1,874)	(1,947)	73	3.9%
売上総利益	1,173	1,110	△63	△5.3%
粗利益率(%)	22.9%	21.3%	△1.6%	—
営業利益	297	270	△27	△9.1%
営業利益率(%)	5.8%	5.2%	△0.6%	—
使用資産	3,733	4,076	343	9.2%
営業利益/使用資産(%)	8.0%	6.6%	△1.4%	—

不動産関連

不動産賃貸事業

- ・主な物件において、賃料収入が安定し、ほぼ前年並み。

温浴事業

- ・飲食部門を強化し、季節メニューの提供やイベント実施により、来店客数の減少は底を打つ。
- ・整体等の付帯サービスが苦戦して、客単価が低下。
売上・利益は、前年を若干下回った。



本社



東京支店

不動産関連

(対前年同期比)

(単位:百万円)

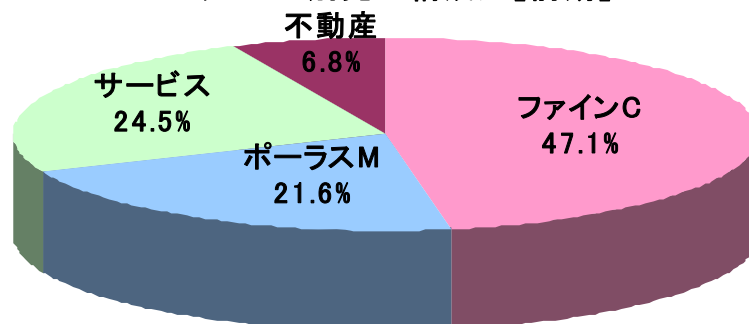
	2011年3月期	2012年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	1,418	1,419	1	0.1%
温浴事業	(1,143)	(1,133)	△10	△0.9%
不動産賃貸	(275)	(286)	11	4.0%
売上総利益	354	353	△1	△0.3%
粗利益率(%)	25.0%	24.9%	0.1%	—
営業利益	289	283	△6	△2.0%
営業利益率(%)	20.4%	20.0%	△0.4%	—
使用資産	8,389	8,608	219	2.6%
営業利益/使用資産(%)	3.5%	3.3%	△0.2%	—

セグメント情報 ①

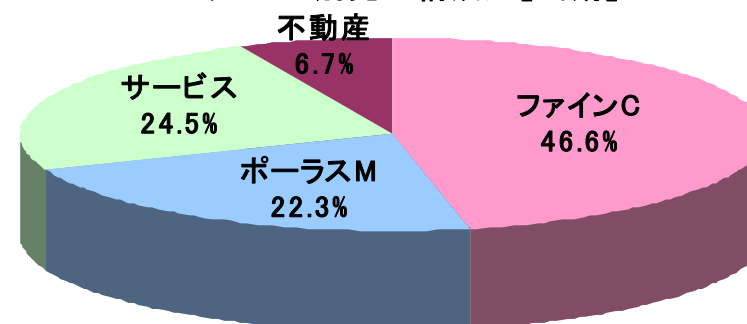
(単位:百万円)

売上高	2011年3月期	2012年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
ファインケミカル	9,837	9,922	85	0.9%
ポーラスマテリアル	4,502	4,743	241	5.4%
サービス	5,126	5,212	86	1.7%
不動産関連	1,418	1,419	1	0.1%
合計	20,884	21,298	414	2.0%

セグメント別売上構成比【前期】



セグメント別売上構成比【当期】

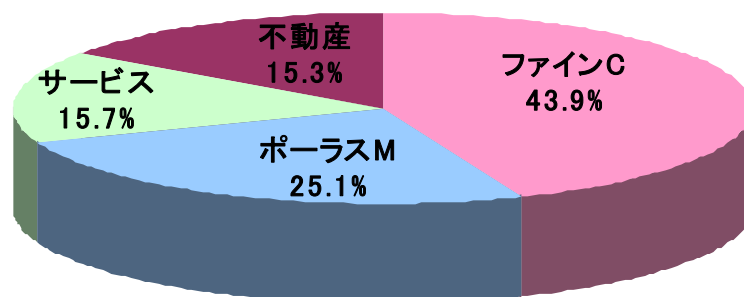


セグメント情報 ②

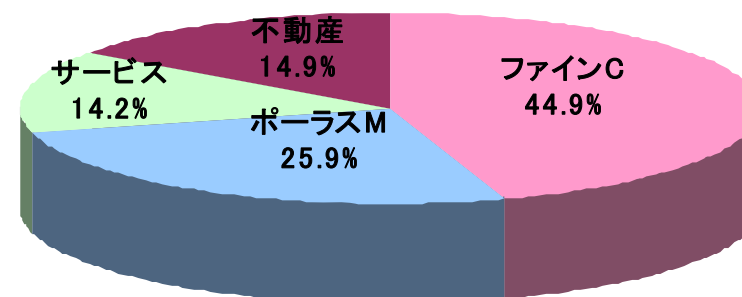
(単位:百万円)

営業利益	2011年3月期	2012年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
ファインケミカル	832	852	20	2.4%
ポーラスマテリアル	475	491	16	3.4%
サービス	297	270	△26	△9.1%
不動産関連	289	283	△5	△1.9%
合計	1,904	1,908	4	0.2%

セグメント別営業利益構成比【前期】



セグメント別営業利益構成比【当期】



連結業績 (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	20,884	21,298	414	2.0%
売上総利益	7,287	7,243	△44	△0.6%
売上総利益率	34.9%	34.0%	△0.9%	—
販売費及び一般管理費	5,383	5,335	△48	△0.9%
営業利益	1,904	1,908	4	0.2%
営業利益率	9.1%	9.0%	△0.1%	—
経常利益	2,076	2,120	43	2.1%
税金等調整前当期純利益	1,724	2,065	341	19.8%
当期純利益	1,104	1,142	38	3.5%
1株当たり当期純利益(円)	51.08	52.86	1.78	—

要約連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,511	2,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,214	△2,592
財務活動によるキャッシュ・フロー	△397	△348
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	31
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△1,100	△834
現金及び現金同等物の期首残高	9,016	7,915
現金及び現金同等物の期末残高	7,915	7,081
減価償却費	793	795
設備投資額	1,996	754

連結ハイライト指標 (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	増減
総資産	42,258	44,099	1,841
純資産	37,862	38,931	1,069
自己資本比率(%)	89.6%	88.3%	△1.3%
ROA(経常利益／総資産)	4.9%	4.8%	△0.1%
ROE(純利益／純資産)	3.0%	2.9%	△0.1%
1株当たり当期純利益(円)	51.08	52.86	1.78
1株当たり配当(円)	14.00	14.50	0.50
配当性向	27.4%	27.4%	±0.0%

要約連結貸借対照表

(対前期末比)

(単位:百万円)

	2011年 3月末	2012年 3月末	増減額		2011年 3月末	2012年 3月末	増減額
流動資産	14,443	14,885	442	流動負債	2,558	3,171	613
現金及び預金	7,166	8,290	1,124	買入債務	1,013	1,081	68
売上債権	3,064	3,393	329	未払法人税等	226	497	271
有価証券	1,614	402	△1,212	未払金・未払費用	900	948	48
棚卸資産	2,051	2,260	209	その他	417	644	227
その他	547	538	△9	固定負債	1,837	1,995	158
固定資産	27,814	29,213	1,399	負債合計	4,396	5,167	771
有形固定資産	22,043	22,061	18	純資産	37,862	38,931	1,069
無形固定資産	218	238	20	株主資本	37,720	38,560	840
投資その他の資産	5,552	6,913	1,361	その他包括利益累計額	142	370	228
資産	42,258	44,099	1,841	負債及び純資産	42,258	44,099	1,841

中期経営計画

Spiral Up "FINAL"



2011年4月～2014年3月

進捗状況の報告

中期経営計画 Spiral Up “FINAL”

期 間: 2011年4月 ～ 2014年3月 (3カ年計画)

経営理念: 「生活文化創造企業」

・・経営理念は普遍的なものとして再定義し、創業以来掲げていた経営理念に原点回帰

経営ビジョン: 未来の『あたりまえ』を発見する

『あたりまえ』とは

一過性のブームに終わらない、お客様に長く愛される製品・サービス

『発見』とは

発明＝ハイテク製品ではなく、日常生活からお客様に支持される
製品・サービスを見つけ出す

・・顧客の目線を常に意識し、創意工夫をもって、いつのまにか『あたりまえ』となるような、
製品・サービスを創出し続けることで、事業の拡大を目指す

基本方針:

- ① 成熟化した国内市場において、付加価値の高い、製品・サービスを提供
- ② 拡大し続ける新興国市場に積極的に参入し、事業の拡大をはかる
- ③ 未来の『あたりまえ』を発見するため、技術・ノウハウ蓄積と用途開発を推進する
- ④ 社会の要請に応え、正当な評価を受ける企業集団を目指す

セグメント別事業戦略:ファインケミカル ①

カー用品(消費者向けカー用品+プロ用美装用品)

①「ガラコ」ブランドワイパーの販売拡大(取扱店舗を拡大と商品認知向上)

・のべ取扱い店舗数は順調に伸長。売れ筋である撥水リフィール以外のアイテムの取扱い店舗が増加して、売上を拡大。ガラコワイパーとしての商品認知が高まりブランドを確立。

→ 新アイテムの投入で更に拡大を目指す。

②シェア拡大余地のある商品群の販売拡大(洗車関連・タイヤお手入れ)

・洗車関連の製品群で、付加価値を高めた新製品を追加発売。

→ 引き続き新製品を投入して、売上拡大を目指す

③芳香・消臭剤への再参入と新しいカー用品販売チャネル開拓

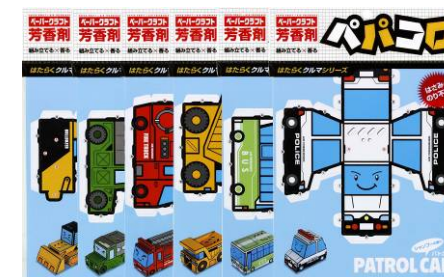
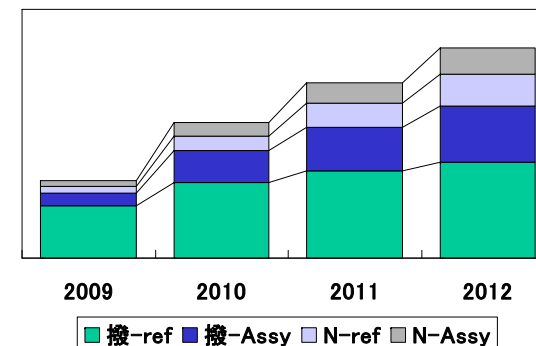
・従来の芳香剤とはコンセプトの異なる「ペパコ」発売。

→ 売場の異なる製品展開に新しい可能性が芽生える。

④コーティング剤新製品、コーティング剤以外の美装ケミカルの市場導入

・納車前の最終仕上剤「クリアベールフィニッシュ」等を発売。ディーラールート of 更なる開拓が始まる。

ガラコワイパーのべ展開店舗数



セグメント別事業戦略：ファインケミカル ②

海外市場

① 中国市場での製品ラインナップ拡充と事業拡大

- ・弊社の代表的な製品「ハンネリ」の現地製品の製造をスタート。
- また、現地オリジナル製品やOEM製品等、製造アイテムは増加。

→ 今後も製造品目数を拡大し、事業規模拡大へ

② 東南アジア市場での拡販と新規仕向先の開拓

- ・ベトナム、ミャンマーで現地代理店を確立。出荷を開始。引き続きインドネシアをポーラスマテリアルと協働で開拓中。

③ ロシア市場での拡販

- ・積極的な販売促進が奏功。現地の旺盛な需要と相まり事業拡大。

④ 新規仕向先の開拓

- ・ブラジル向け出荷開始。インドの現地代理店を開拓中。



《ファインケミカルセグメント計画値》

	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (予想)	増減	2014年3月期 (計画)
売上高	9,922	10,450	+528	10,600
営業利益	852	960	+108	1,060

セグメント別事業戦略：ポーラスマテリアル

産業資材

① 新しい用途開発の推進

- ・太陽電池向けは、本格的にスタートするも業界の低迷により販売伸び悩む。LED基板向け砥石は求評終了。今期、出荷開始。
- ・2次電池向けセパレータも今期、出荷開始となる。

② 既存用途の製品品質向上

- ・品質が評価され、海外半導体メーカー向けの出荷は増加。
- ・タイ洪水により苦戦したが、HD向けもメインサプライヤーとして採用される。



生活資材

新製品開発(新用途開発)の推進

- ・キッチン向けの吸水クロスや「サモコンクール」のラインナップを拡充。
- ・また海外カー用品も中南米への出荷開始。

新用途開発

- ・医療用として、インフルエンザ検査キットの吸収体へ採用が決定。



《ポーラスマテリアルセグメント計画値》

	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (予想)	増減	2014年3月期 (計画)
売上高	4,743	5,050	+307	5,400
営業利益	491	470	△21	700

セグメント別事業戦略：サービス・不動産

オートサービス

首都圏市場での新規顧客開拓

・東京新工場は着工が遅れるも今年度中に完成予定。

生活用品企画販売

新規流通チャネルの開拓

・インターネット通販サイトがスタート。EC事業のノウハウ蓄積中。

自動車教習事業

経営資源の最適化と効率的運営

・閑散期の職業免許の入所が好調。繁忙のバランス運営に一定の目処立つ。

温浴事業

・サービスメニューの充実により、来客数の減少は底を打つ。



《サービス・不動産セグメント計画値》

	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (予想)	増減	2014年3月期 (計画)
売上高	6,632	6,750	+118	7,000
営業利益	554	570	+16	540

Spiral Up “FINAL” 事業計画(計数編)



	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (予想)	増減	2014年3月期 (計画)
売上高	21,298	22,250	+952	23,000
ファインケミカル	9,922	10,450	+528	10,600
ポーラスマテリアル	4,743	5,050	+307	5,400
サービス・不動産	6,632	6,750	+118	7,000
営業利益	1,908	2,000	+92	2,300
ファインケミカル	852	960	+108	1,060
ポーラスマテリアル	491	470	△21	700
サービス・不動産	553	570	+17	540
経常利益	2,120	2,150	+30	2,450
当期純利益	1,142	1,250	+108	1,500
ROA (経常利益/総資産)	4.8%	4.8%	±0.0pt	5.5%
ROE (純利益/純資産)	2.9%	3.1%	+0.2pt	3.7%
総資産回転率	0.48	0.50	+0.02	0.51

2013年3月期については、売上は順調に推移する計画となるが、利益面ではポーラスマテリアル事業の半導体向けで、利益率の低い海外比率が増加し、利益面で伸び悩む計画となる。

株主還元策

- ・更なる株主重視の経営を目指し、安定的な配当の継続を基本方針とする。
- ・連結当期純利益の25%以上を目処とした配当政策を実施する。
- ・内部留保については、将来の事業拡大と経営体質の強化のための投資に活用。

	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (予想)	対前年比	2014年3月期 (計画)	対前年比
当期純利益(百万円)	1,142	1,250	+108	1,500	+250
1株当たり 当期純利益(円)	52.86	57.13	+4.27	69.40	+12.27
1株当たり 年間配当金(円)	14.50	15.00	+0.5	17.50	+2.5
配当性向(%) 連結ベース	27.4%	26.2%	△1.2pt	25.3%	△1.2pt
年間配当額(百万円)	313	328	+15	382	+54
純資産配当率(%)	0.8%	0.8%	±0.0pt	0.9%	+0.1pt

長時間に渡り、
ご清聴ありがとうございました